



高校 バasketボール班



高校バスケットボール班は、男女とも同じ理念を共有し、それぞれの個性を大切に活動しています。それは「楽しくて、強い附属のニコニコバスケットです」。附属のベースに流れる自由を班活動の場で実践します。一人一人の個性を豊かに育み、チームとしても成長していきます。年間の大きな流れは以下のようになります。

4月にはⅢ年生の集大成となる広島県高等学校高校総体バスケットボールの部広島地区予選会が開催されます。それを勝ち抜いて6月の県総体を目指します。

7月には、高校1年生大会が開催されます。同じ学年のチームが対戦します。

8月には合宿（千代田運動公園）を実施し、OB・OGの協力の下、保護者の皆さんのサポートをいただき、充実した3日間を経験します。この間の成長は目を見張るものがあります。

8月下旬から9月上旬にかけて広島県高等学校バスケットボール秋季大会が開催されます。所謂ウィンターカップの県予選に当たります。

10月から12月にかけて広島県高校バスケットボール新人大会広島地区予選が開催されます。1月上旬に開催される広島県高校バスケットボール新人大会を目指します。

3月には広島地区バスケットボール錬成大会が開催され、翌年度の地区総体に向けての最終調整を行います。そして、総体予選に向けて総合的なチームの力を充実させていきます。

バスケット班は現役の班員、OB・OG、保護者、顧問のつながりの中で存在し、成長しています。8月と1月にはOB・OG会を開催します。多くの卒業生が集まります。2015年には80有余年に及ぶバスケットボール班の歴史をまとめた『広島大学附属高等学校籠球班記念誌』を刊行しました。日々の活動の記録、第29回卒（1939年）から107回卒（2017年）までの班員名簿や写真・手記などを収録しています。現在はその増補版『広島大学附属高等学校籠球班記念誌Ⅱ』を制作中です。

